

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2013年8月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第60期第1四半期(自2013年4月1日至2013年6月30日) |
| 【会社名】 | 株式会社W D I |
| 【英訳名】 | W D I Corporation |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役 清水 謙 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区六本木五丁目5番1号 |
| 【電話番号】 | 03(3404)3704(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部本部長 佐々木 智晴 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区六本木五丁目5番1号 |
| 【電話番号】 | 03(3404)3704(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部本部長 佐々木 智晴 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第59期 第1四半期連結 累計期間 | 第60期 第1四半期連結 累計期間 | 第59期 |
|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2012年4月1日 至 2012年6月30日 | 自 2013年4月1日 至 2013年6月30日 | 自 2012年4月1日 至 2013年3月31日 |
| 売上高(千円) | 4,195,101 | 4,856,029 | 17,702,088 |
| 経常利益(は損失)(千円) | 8,279 | 135,673 | 335,666 |
| 四半期(当期)純利益(は損失)(千円) | 30,054 | 74,990 | 69,555 |
| 四半期包括利益又は包括利益(千円) | 13,116 | 151,482 | 186,895 |
| 純資産額(千円) | 1,276,431 | 1,536,214 | 1,441,522 |
| 総資産額(千円) | 8,311,058 | 8,698,712 | 8,126,328 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (は損失)金額(円) | 4.75 | 11.84 | 10.99 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 14.5 | 16.3 | 16.4 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、第59期第1四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、第59期及び第60期第1四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権主導による経済金融政策を背景に景気回復への期待感が高まったことから、緩やかな回復基調のなかで推移いたしました。

海外では、米国経済が比較的堅調に景気回復を遂げつつあるものの、欧州債務問題への不安感と新興国における経済の減速傾向から世界的な景気の先行きは、未だ不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、中高所得層における個人消費に回復傾向が見られるものの、全般的には厳しい雇用・所得環境の継続による消費者の節約志向や生活防衛意識が依然として高く、また円安進行に伴う原材料価格の高騰が懸念される等、厳しい経営環境が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、2013年度を最終年度とする中期経営計画「WDI Hospitality 40years」で掲げた目標である「連結営業利益率5%」もしくは「連結営業利益8億5千万円」いずれかの達成に向けて、諸施策への取組みを推進しております。

新規出店については、日本国内において、カプリチョーザの派生業態として新たに開発した「カプリカフェ」を六本木ヒルズに1店舗出店いたしました。既存の業態では「カリフォルニア・ピザ・キッチン」のファストカジュアルタイプの店舗を、酒々井プレミアム・アウトレットに1店舗出店いたしました。また、ハワイにてシチリア料理を提供している当社オリジナル業態「タオルミーナ」の日本国内1号店を、グランフロント大阪に出店いたしました。

フランチャイズ展開におきましては、日本国内において「カプリチョーザ」を1店舗、「トニーローマ」を1店舗出店いたしました。海外では「カプリチョーザ」を台湾に1店舗出店いたしました。

業績につきましては、以上の結果により、当第1四半期連結累計期間における売上高は、4,856百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益は90百万円（前年同期比106.5%増）、経常利益は135百万円（前年同期は経常損失8百万円）、四半期純利益は74百万円（前年同期は四半期純損失30百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

日本

国内は、売上高は3,441百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は174百万円（前年同期比99.1%増）となりました。

北米

米国では、売上高は949百万円（前年同期比33.6%増）、営業損失は37百万円（前年同期は営業利益4百万円）となりました。

ミクロネシア

ミクロネシアでは、売上高は355百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益は53百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

アジア

アジアでは、売上高は126百万円（前年同期比56.8%増）、営業損失は3百万円（前年同期は営業利益9百万円）となりました。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（3）研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 22,127,680 |
| 計 | 22,127,680 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2013年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (2013年8月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 6,331,920 | 6,331,920 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 6,331,920 | 6,331,920 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 2013年4月1日～ 2013年6月30日 | - | 6,331,920 | - | 585,558 | - | 588,655 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2013年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2013年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 400 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 6,330,500 | 63,305 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 1,020 | - | - |
| 発行済株式総数 | 6,331,920 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 63,305 | - |

【自己株式等】

2013年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|-----------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社WD I | 東京都港区六本木五丁目5番1号 | 400 | - | 400 | 0 |
| 計 | - | 400 | - | 400 | 0 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2013年4月1日から2013年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2013年4月1日から2013年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽ASG有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2013年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2013年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,149,092 | 1,427,280 |
| 売掛金 | 253,964 | 244,670 |
| たな卸資産 | 1 290,510 | 1 304,507 |
| 預け金 | 485,194 | 418,521 |
| 繰延税金資産 | 197,426 | 209,560 |
| その他 | 345,466 | 537,709 |
| 貸倒引当金 | 16,519 | 17,929 |
| 流動資産合計 | 2,705,134 | 3,124,320 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 5,833,701 | 6,075,869 |
| 減価償却累計額 | 3,474,565 | 3,574,584 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,359,136 | 2,501,284 |
| 工具、器具及び備品 | 1,922,506 | 2,031,667 |
| 減価償却累計額 | 1,404,784 | 1,481,579 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 517,722 | 550,087 |
| 土地 | 232,941 | 232,941 |
| 建設仮勘定 | 52,395 | - |
| その他 | 36,623 | 37,430 |
| 減価償却累計額 | 22,671 | 24,901 |
| その他(純額) | 13,951 | 12,529 |
| 有形固定資産合計 | 3,176,147 | 3,296,842 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 253,589 | 256,912 |
| 無形固定資産合計 | 253,589 | 256,912 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期貸付金 | 90,366 | 99,273 |
| 敷金及び保証金 | 1,459,461 | 1,461,194 |
| 繰延税金資産 | 308,630 | 328,095 |
| その他 | 133,318 | 132,393 |
| 貸倒引当金 | 320 | 320 |
| 投資その他の資産合計 | 1,991,457 | 2,020,635 |
| 固定資産合計 | 5,421,194 | 5,574,391 |
| 資産合計 | 8,126,328 | 8,698,712 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2013年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2013年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 466,569 | 438,382 |
| 短期借入金 | - | 418,802 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2 1,287,340 | 2 1,275,174 |
| 未払金 | 685,784 | 817,539 |
| 未払法人税等 | 32,416 | 105,351 |
| 賞与引当金 | 205,733 | 105,272 |
| 販売促進引当金 | 22,390 | 21,700 |
| その他 | 537,196 | 559,212 |
| 流動負債合計 | 3,237,430 | 3,741,435 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2 3,088,000 | 2 3,050,750 |
| 退職給付引当金 | 4,987 | 5,329 |
| その他 | 354,388 | 364,984 |
| 固定負債合計 | 3,447,375 | 3,421,063 |
| 負債合計 | 6,684,806 | 7,162,498 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 585,558 | 585,558 |
| 資本剰余金 | 588,655 | 588,655 |
| 利益剰余金 | 414,556 | 451,557 |
| 自己株式 | 229 | 229 |
| 株主資本合計 | 1,588,540 | 1,625,541 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 252,556 | 203,401 |
| その他の包括利益累計額合計 | 252,556 | 203,401 |
| 少数株主持分 | 105,537 | 114,073 |
| 純資産合計 | 1,441,522 | 1,536,214 |
| 負債純資産合計 | 8,126,328 | 8,698,712 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年6月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 4,195,101 | 4,856,029 |
| 売上原価 | 1,052,837 | 1,265,015 |
| 売上総利益 | 3,142,263 | 3,591,014 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,098,667 | 3,500,972 |
| 営業利益 | 43,596 | 90,041 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,610 | 1,565 |
| 為替差益 | - | 61,677 |
| 受取補償金 | 792 | - |
| 地震災害損失引当金戻入額 | 800 | - |
| その他 | 2,051 | 752 |
| 営業外収益合計 | 5,253 | 63,994 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 20,205 | 15,960 |
| 為替差損 | 28,809 | - |
| その他 | 8,114 | 2,402 |
| 営業外費用合計 | 57,129 | 18,363 |
| 経常利益又は経常損失() | 8,279 | 135,673 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,000 | - |
| 立退料収入 | - | 68,500 |
| 特別利益合計 | 1,000 | 68,500 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | - | 3,942 |
| 減損損失 | - | 151 |
| 特別損失合計 | - | 4,094 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失() | 7,279 | 200,079 |
| 法人税等 | 11,681 | 107,226 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失() | 18,960 | 92,852 |
| 少数株主利益 | 11,094 | 17,862 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 30,054 | 74,990 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年6月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失() | 18,960 | 92,852 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金(税引前) | 395 | - |
| 為替換算調整勘定(税引前) | 32,322 | 58,630 |
| その他の包括利益に係る税効果額 | 150 | - |
| その他の包括利益合計 | 32,077 | 58,630 |
| 四半期包括利益 | 13,116 | 151,482 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,310 | 124,145 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 14,427 | 27,337 |

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

当第 1 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2013年 3月31日) | 当第 1 四半期連結会計期間 (2013年 6月30日) |
|----------|----------------------------|-----------------------------------|
| 商品 | 92,361千円 | 108,480千円 |
| 原材料及び貯蔵品 | 198,148 | 196,027 |
| 計 | 290,510 | 304,507 |

2 財務制限条項

前連結会計年度 (2013年 3月31日)

当社グループが締結している一部の金銭消費貸借契約 (当連結会計年度末借入金残高合計10,000千円) には、当連結会計年度末現在、以下の財務制限条項が付されております。

平成21年 3月期末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の金額を 6 億円以上に維持し、平成22年 3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の金額を、() 6 億円、若しくは、() 直近の事業年度末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の合計金額の75%、のいずれか大きい金額以上に維持すること。

平成22年 3月期の第 2 四半期会計期間末日 (平成21年 9月末日) 及びそれ以降の各事業年度末日及び各第 2 四半期会計期間の末日における報告書等に記載される連結損益計算書における営業損益及び経常損益をそれぞれ損失としないこと。

当第 1 四半期連結会計期間 (2013年 6月30日)

前連結会計年度末にて当社グループが締結していた一部の金銭消費貸借契約 (前連結会計年度末借入金残高合計10,000千円) には、財務制限条項が付されておりましたが、当第 1 四半期連結会計期間にて借入金を返済し、契約を満了しております。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 129,767千円 | 148,312千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自2012年4月1日至2012年6月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 配当の原資 | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|----------------|-------|---------------------|------------|------------|
| 2012年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 50,652 | 利益剰余金 | 8 | 2012年3月31日 | 2012年6月28日 |

(注) 1株当たり配当額には、外食事業参入40周年の記念配当2円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自2013年4月1日至2013年6月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 配当の原資 | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|----------------|-------|---------------------|------------|------------|
| 2013年6月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 37,989 | 利益剰余金 | 6 | 2013年3月31日 | 2103年6月26日 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2012年4月1日至2012年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 | 合計 |
|-----------------------|-----------|---------|---------|--------|-----------|-----|-----------|
| | 日本 | 北米 | ミクロネシア | アジア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,095,713 | 707,384 | 311,473 | 80,529 | 4,195,101 | - | 4,195,101 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 8,898 | 3,750 | - | - | 12,648 | - | 12,648 |
| 計 | 3,104,611 | 711,134 | 311,473 | 80,529 | 4,207,749 | - | 4,207,749 |
| セグメント利益 | 87,402 | 4,057 | 49,028 | 9,862 | 150,350 | - | 150,350 |

(注)1. 「アジア」には新たに設立いたしました味都特亞洲餐飲管理有限公司が含まれております。

2. 「その他」には報告セグメントに含まれないヨーロッパの現地法人であるWDI Europe H Ltd.が含まれております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 150,350 |
| 全社費用(注) | 107,155 |
| その他の調整額 | 400 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 43,596 |

(注)全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用です。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2013年4月1日至2013年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 日本 | 北米 | ミクロネシア | アジア | 合計 |
|-----------------------|-----------|---------|---------|---------|-----------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,427,848 | 946,231 | 355,694 | 126,255 | 4,856,029 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 14,124 | 3,750 | - | - | 17,874 |
| 計 | 3,441,973 | 949,981 | 355,694 | 126,255 | 4,873,904 |
| セグメント利益 (は損失) | 174,006 | 37,893 | 53,462 | 3,310 | 186,264 |

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 186,264 |
| 全社費用(注) | 96,624 |
| その他の調整額 | 400 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 90,041 |

(注)全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用です。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第1四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年6月30日) |
|------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額(は損失) | 4.75円 | 11.84円 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(は損失)(千円) | 30,054 | 74,990 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(は損失) (千円) | 30,054 | 74,990 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 6,331,576 | 6,331,510 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第1四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、当第1四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8 月 7 日

株式会社W D I
取締役会 御中

太陽 A S G 有限責任監査法人

| | | |
|--------------------|-------|---------|
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 和田 芳幸 印 |
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 石原 鉄也 印 |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社W D Iの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社W D I及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。